

(様式 1-3)

福島県楡葉町帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	14	事業名	放射線健康管理事業		事業番号	(3)-24 -2
交付団体	楡葉町		事業実施主体 (直接/間接)		楡葉町 (直接)	
総交付対象事業費	(3,176) 3,983 (千円)		全体事業費		(3,176) 3,983 (千円)	
帰還環境整備に関する目標						
放射線被ばくを含めた心身両面の健康管理を図るため、各方面の専門家で構成する放射線健康管理委員会を開催し、町の放射線健康管理体制やこれに基づく施策、課題について、専門的な見地からの議論を進めることで、住民が安心して暮らすことができるような万全な支援策の展開を図り、町民の早期の帰還・生活再建を目指す。						
事業概要						
原子力発電所事故による避難生活が長引く中で、町民は、これからの健康や暮らしなど様々な不安を抱えている。 このため町において、放射線内部被ばく検査を実施するなどの身近なところで検査ができるような体制整備を図るとともに、住民一人一人のニーズが多様であるため、放射線に関する医師、科学者、社会学者、心理学者など様々な方面の専門家で構成する放射線健康管理委員会を開催することで、放射線健康管理体制において専門的な知見を確保し、着実に住民の安心感の向上へとつなげるとともに、現状施策への課題解決を効果的に図っていく。 ○放射線健康管理委員会の開催 ・委員に対する謝礼・交通費 ○放射線内部被ばく検査の実施 ・検査の案内及び検査結果の通知にかかる通信料 【楡葉町復興計画<第二次>第二版】 ・安心して暮らせる環境を作り出す ・心身の健康づくり・健康管理 詳細、綿密な放射線影響への対応 放射線に関する情報提供、学習、理解の機会提供						
当面の事業概要						
<平成 29 年度> ・放射線健康管理委員会を開催し、放射線被ばくに関する健康管理体制を整備・強化を図りながらも、課題への対応検討を図る。 ・内部被ばく検査の実施によって、身近な環境で測定を受けることができる体制を整備することで、住民の安心安全の向上を図る。						
地域の帰還環境整備との関係						
専門的な知見を導入することで、着実に住民が安心できる放射線被ばくに対する施策実現を図ること及び検査体制の充実によって、住民が安心して帰還・生活再建を図ることができる環境を効果的に整備する。						

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	